

特産品が勢ぞろい!

10月13日、第32回産業まつり（実行委員会主催）が役場前駐車場にて開催され、町内の事業所や農漁業者など26店舗が集まり、地場産の魚介類や旬の果物、温かいご飯物や汁物などを販売しました。

会場では、長い行列が出来るほどの人気となった新米の特売や、主婦の方々を中心に多くの人だかりができた魚介類の模擬競りなどが、来場者の注目を集めておりました。

また、友好市町村の五所川原市からは特産品である十三湖産シジミ、上ノ国木工愛好会から丸太を輪切りにして作ったテーブル類などが販売され、このほか冬物の衣料品や暖房器具も店頭に並ぶなど、品ぞろえの豊富さが目を引く内容でした。

また、催しとして行われたカミゴンのじゃんけん大会やビンゴ大会、かたこ餅まきなども会場を盛り上げ、賑やかな産業まつりとなりました。



スポーツで交流を

10月14日、町民体育館において町民スポーツフェスティバル（実行委員会主催）が開催され、玉入れや輪投げのほか、新しい競技などの多彩な種目に多くの方々が参加しました。

特に少年団の子ども達が参加した大縄跳びでは、普段の練習で培ったチームワークを発揮して息の合った豪快なジャンプが見られたほか、少年団父母などが出場する綱引きでは、関係者から大きな声援が飛び交うなど、盛り上がりを見せたスポーツフェスティバルとなりました。



楽しく有酸素運動

メタボ予防や運動不足解消に役立てようと、町では10月から運動教室を開催しています。

10月16日に行われた運動教室では、ストレッチやゴム布を使った体操などが行われ、参加された方はリズムに合わせて気持ちよく運動していました。

運動教室は11月と12月にも開催され、講師からは「運動は継続が大切です。まずは楽しんでもらい、自分に合う運動を見つけて継続してほしい」との言葉がありましたので、興味のある方は是非ご参加ください。